

埼玉県児童・生徒発明創意くふう作品（家庭科自由研究）

発明・創意・工夫された作品は、私たちの生活に生かされ、私たちのくらしと心をより豊かに、便利にしています。生活の中で「不便だと感じたこと」や「こんなものがあたらいいなあ」と思うものを考えてみましょう。

この学習に挑戦すると、

①物事を工夫する力

②ものづくりを通して、いろいろなものを製作する技術を身につけることができます。

また、実用化された児童生徒の作品も増えてきています。自分の考える力や発想力を生かし、新しいものを作り出してください。

やり方（作品を作ったら、以下のように説明を書いて、作品と一緒に提出しましょう。）

1. 動機

- ・どうして、この作品を作ることになったか？きっかけについて、くわしく書く。
- ・どうして、作りたいと思ったか？
- ・どうして、このようなものが欲しいと思ったか？

2. 創意くふうした点

（1）工夫した点

- ・どんな所を工夫したか
- ・工夫している所や良い部分（セールスポイント）を書く
- ・色鉛筆やカラーペンを使って、図を入れると良い。

3. 使用法と効果

（1）作品の説明

- ・どのような手順で利用するのか。説明する図を描き、説明する。
- ・使用上の注意も記入する。
- ・どのようにして、使うのか。利用方法や利用する場面を記入する。
- ・どんな時に使うのか。

（2）将来性

- ・改善点などがあたら書く。
- ・こんな所にも使える、使うことができそうだ。

4. 作品名をつける

- ・作品のイメージを作り上げるものです。印象的なネーミングをしてください。
- ・わかりやすい作品名で作品の特徴があらわされているもの。

★作品は、大きさと重さの制限があります。

大きさ：たて45cm よこ70cm 高さ70cm以内

重さは：20Kg以内

作品例

<とびこえ防止クリップ> 久喜市立青葉小学校 6年

考案の動機（抜粋）

母の手伝いで輪切りをしたとき、切った野菜が包丁を超えて反対側に来て、半円になったり手でどけながら切ることになったりして、とてもたいへんだったので、もっと楽に切れたらと考えた。

説明（抜粋）

きゅうりを切る時に、切ったものが包丁をとびこえ、反対側にたおれてきたり、倒れたきゅうりを再び切ってしまうことがあったりしたが、倒れてこなくなったので、とても切り易くなった。

<ヒヤット・ピタット・ハイ・できた！> 川越市立芳野小学校 5年

考案の動機（抜粋）

熱が出た時に首うら、脇の下の3ヶ所冷やしたいが寝ているうちに動いてずれてしまう。

説明（抜粋）

平ゴムを背中側にして輪の中に入り、保冷剤を首うら、脇の下に合うように当てれば完成です。どんな体型の人にも使える

<ばあちゃんぬげないよ「スリッパぴったりベルト」> 上尾市立原市小学校 4年

考案の動機（抜粋）

家族で温泉に行き旅館でスリッパをはいたが、祖母のスリッパが脱げそうになり、特に階段ではつまずいて転倒するのではないかとひやひやした。

説明（抜粋）

足首とスリッパをゴムベルトで固定し、階段でもスリッパが脱げず、特にお年寄りの転倒防止に有効。どんなスリッパや足首の太さにも対応できる。軽くて小さいので、持ち運びしやすい。スリッパが脱げず、転倒を防止できる。ベルトなので、装着時にバランスを崩すこともない。

<楽しくおそうじ！4 way おそうじ棒> 本庄市立中央小学校 3年

考案の動機（抜粋）

お金を使わず、ペットボトル、ペットボトルのキャップ、ラップの芯、空き箱、使用済みのストッキングなどの廃材を使用して、楽しくお掃除が出来る道具を作りたかった。組み立て式なら、片付けする時に収納する場所もとらない。ホコリでのアレルギーも防げるので、病気の人にも安心。

説明（抜粋）

①ハエ取り棒 ②はたき棒 ③ちりとり棒 ④床拭き棒 ①～④までの棒は、各種に棒をセットするだけで使用出来るすぐれもの！可動式なので、好きな長さ出来る。